

iFreeActive メディカルデバイス

運用報告書(全体版) 第5期

(決算日 2023年10月18日)

(作成対象期間 2022年10月19日～2023年10月18日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2018年10月19日～2028年10月18日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要 投資対象	ベビーファンド	メディカルデバイス・マザーファンドの受益証券	
	メディカルデバイス・マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入率 比	株式先物率 比	純資産額 総
	(分配落)	税金 込	騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
1 期末 (2019年10月18日)	11,001	0	10.0	99.0	—	131
2 期末 (2020年10月19日)	14,546	0	32.2	99.6	—	203
3 期末 (2021年10月18日)	18,877	0	29.8	99.3	—	335
4 期末 (2022年10月18日)	16,641	0	△ 11.8	95.5	—	179
5 期末 (2023年10月18日)	15,011	0	△ 9.8	98.6	—	144

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

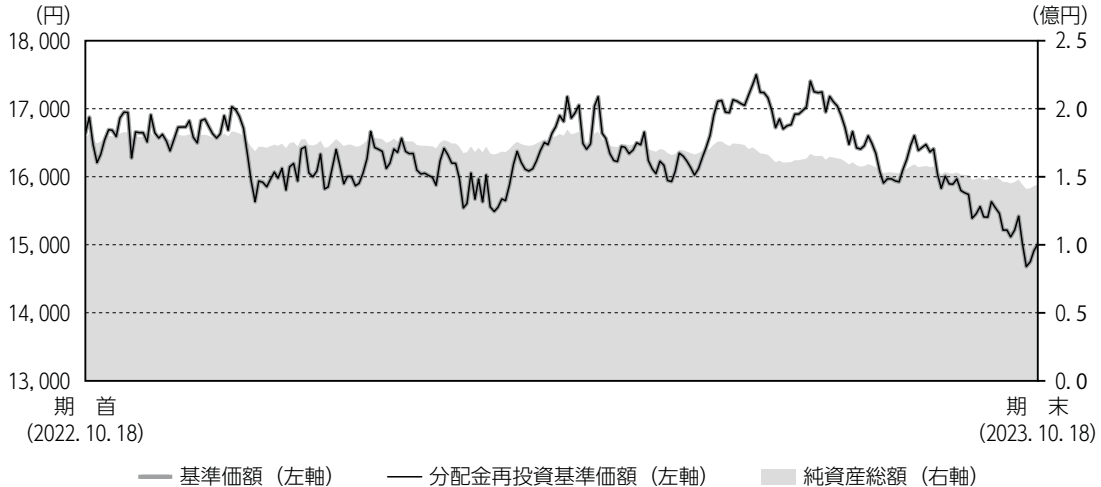
(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：16,641円

期末：15,011円（分配金0円）

騰落率：△9.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

日本を含む世界の株式は上昇し、為替相場はおおむね円安となりました。しかし、肥満治療薬の普及に伴い、医療機器に対する需要が減退するとの懸念などが、当ファンドが主要投資対象としている日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式のマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
	騰 落 率			
(期 首) 2022年10月18日	円	%	%	%
	16,641	—	95.5	—
10月末	16,862	1.3	99.5	—
11月末	16,497	△ 0.9	98.4	—
12月末	16,124	△ 3.1	99.0	—
2023年1月末	15,869	△ 4.6	99.0	—
2月末	16,020	△ 3.7	99.0	—
3月末	16,184	△ 2.7	98.8	—
4月末	16,481	△ 1.0	98.9	—
5月末	15,944	△ 4.2	98.6	—
6月末	17,353	4.3	99.1	—
7月末	17,180	3.2	99.0	—
8月末	16,605	△ 0.2	98.9	—
9月末	15,633	△ 6.1	97.9	—
(期 末) 2023年10月18日	15,011	△ 9.8	98.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 10. 19 ~ 2023. 10. 18)

世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、財政悪化懸念で揺れていた英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどから、上昇しました。2022年12月は、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しましたが、2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから、上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。

4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月以降は、インフレが沈静化傾向となり利上げ打ち止め期待などから上昇する局面もありましたが、原油価格が上昇に転じたことやF R Bの政策金利見通しが引き上げられ高水準の政策金利が長期化するとの見方が強まったこと、予算審議の不調で政府機関の閉鎖観測が強まり米国内債の格下げが懸念されたことなどから長期金利が大幅に上昇し、株価は反落して当作成期末を迎えました。

為替相場

対円為替相場は、おおむね小幅に上昇（円安）しました。

当作成期首より、日本政府・日銀が円買い介入を実施したことや米国金利が低下に転じたことなどから、投資対象通貨は対円で下落（円高）しました。2023年に入ってから、堅調な米国経済などを背景に米国金利が上昇に転じたことや欧州金利の上昇幅が大きかったことなどから、2月末にかけて円が買い戻される展開となりました。3月に入ると、米国の地方銀行の経営破綻に伴う信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、米ドルを中心に対円で下落に転じました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、円高が進みました。当作成期末にかけては、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落する場面もありましたが、再度米

国をはじめグローバルで金利が上昇基調となると、投資対象通貨は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「メディカルデバイス・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■メディカルデバイス・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

ポートフォリオについて

(2022. 10. 19 ~ 2023. 10. 18)

■当ファンド

「メディカルデバイス・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしました。

■メディカルデバイス・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、BOSTON SCIENTIFIC CORP (米国)、THERMO FISHER SCIENTIFIC INC (米国)、STRYKER CORP (米国)などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2022年10月19日 ～2023年10月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,832

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計上で、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

当ファンド

「メディカルデバイス・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

メディカルデバイス・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 10. 19~2023. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	199円	1. 221%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16, 334円です。
(投 信 会 社)	(97)	(0. 594)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(97)	(0. 594)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0. 033)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	12	0. 071	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(12)	(0. 071)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 002	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 002)	
そ の 他 費 用	46	0. 279	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(44)	(0. 270)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	257	1. 572	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

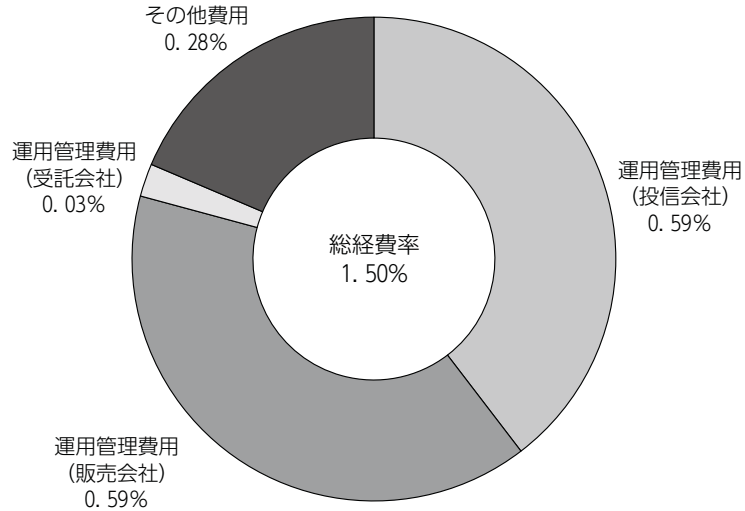
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年10月19日から2023年10月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メディカルデバイス・マザーファンド	5,089	8,800	17,159	30,200

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年10月19日から2023年10月18日まで)

項 目	当 期
	メディカルデバイス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	235,292千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	168,182千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.39

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2022年10月19日から2023年10月18日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B		B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D
百万円		百万円	%			百万円
株式	109	1	1.5	125	2	2.3
為替予約	34	—	—	47	—	—
コール・ローン	141	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2022年10月19日から2023年10月18日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	120千円
うち利害関係人への支払額 (B)	6千円
(B) / (A)	5.5%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	
50	—	—	50	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
メディカルデバイス・マザーファンド	102,208	90,137	143,850

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
メディカルデバイス・マザーファンド	143,850	99.0
コール・ローン等、その他	1,427	1.0
投資信託財産総額	145,278	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=149.85円、1オーストラリア・ドル=95.20円、1イギリス・ポンド=182.19円、1スイス・フラン=166.35円、1スウェーデン・クローネ=13.69円、1オション・人民元=20.455円、1ユーロ=158.29円です。

(注3) メディカルデバイス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (139,865千円) の投資信託財産総額 (143,853千円) に対する比率は、97.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	145,278,398円
コール・ローン等	1,427,779
メディカルデバイス・マザーファンド (評価額)	143,850,619
(B) 負債	1,072,128
未払解約金	68,428
未払信託報酬	999,279
その他未払費用	4,421
(C) 純資産総額 (A - B)	144,206,270
元本	96,064,930
次期繰越損益金	48,141,340
(D) 受益権総口数	96,064,930口
1万口当り基準価額 (C / D)	15,011円

*期首における元本額は107,579,134円、当作成期間中における追加設定元本額は9,088,441円、同解約元本額は20,602,645円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は15,011円です。

■損益の状況

当期 自2022年10月19日 至2023年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 297円
受取利息	22
支払利息	△ 319
(B) 有価証券売買損益	△ 13,378,177
売買益	852,903
売買損	△ 14,231,080
(C) 信託報酬等	△ 2,077,975
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 15,456,449
(E) 前期繰越損益金	10,561,861
(F) 追加信託差損益金	53,035,928
(配当等相当額)	(32,108,427)
(売買損益相当額)	(20,927,501)
(G) 合計 (D + E + F)	48,141,340
次期繰越損益金 (G)	48,141,340
追加信託差損益金	53,035,928
(配当等相当額)	(32,108,427)
(売買損益相当額)	(20,927,501)
分配準備積立金	28,058,917
繰越損益金	△ 32,953,505

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	37,579,776
(d) 分配準備積立金	28,058,917
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	65,638,693
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	65,638,693
(h) 受益権総口数	96,064,930口

メディカルデバイス・マザーファンド

運用報告書 第5期 (決算日 2023年10月18日)

(作成対象期間 2022年10月19日～2023年10月18日)

メディカルデバイス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みません。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

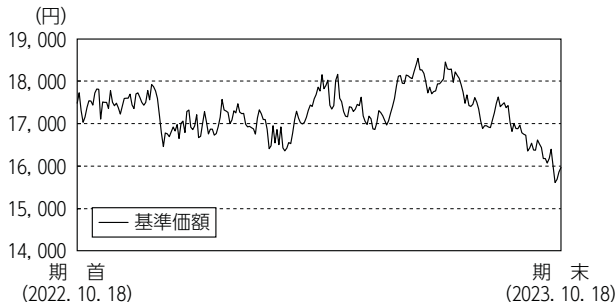
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	%		
(期 首)2022年10月18日	17,482	—	95.6	—
10月末	17,723	1.4	99.7	—
11月末	17,355	△ 0.7	98.6	—
12月末	16,977	△ 2.9	99.2	—
2023年 1月末	16,725	△ 4.3	99.2	—
2月末	16,901	△ 3.3	99.2	—
3月末	17,092	△ 2.2	99.0	—
4月末	17,424	△ 0.3	99.1	—
5月末	16,873	△ 3.5	98.8	—
6月末	18,387	5.2	99.3	—
7月末	18,223	4.2	99.2	—
8月末	17,629	0.8	99.2	—
9月末	16,611	△ 5.0	98.1	—
(期 末)2023年10月18日	15,959	△ 8.7	98.8	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,482円 期末：15,959円 騰落率：△8.7%

【基準価額の主な変動要因】

日本を含む世界の株式は上昇し、為替相場はおおむね円安となりました。しかし、肥満治療薬の普及に伴い、医療機器に対する需要が減退するとの懸念などが、当ファンドが主要投資対象としている日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式のマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、財政悪化懸念で揺れていた英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどから、上昇しました。2022年12月は、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しましたが、2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でF R B (米国連邦準備制度理事会)の利上げペースが減速するとの期待などから、上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I (人工知能)関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月以降は、インフレが沈静化傾向となり利上げ打ち止め期待などから上昇する局面もありましたが、原油価格が上昇に転じたことやF R Bの政策金利見通しが引き上げられ高水準の政策金利が長期化するとの見方が強まったこと、予算審議の不調で政府機関の閉鎖観測が強まり米国内債の格下げが懸念されたことなどから長期金利が大幅に上昇し、株価は反落して当作成期末を迎えました。

○為替相場

対円為替相場は、おおむね小幅に上昇 (円安) しました。

当作成期首より、日本政府・日銀が円買い介入を実施したことや米国内金利が低下に転じたことなどから、投資対象通貨は対円で下落 (円高) しました。2023年に入ってから、堅調な米国経済などを背景に米国内金利が上昇に転じたことや欧州金利の上昇幅が大きかったことなどから、2月末にかけて円が買い戻される展開となりました。3月に入ると、米国の地方銀行の経営破綻に伴う信用不安の拡大により米国内金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、米ドルを中心に対円で下落に転じました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国内金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、F R B (米国連邦準備制度理事会)が政策金利見直しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和と政策の維持を決定したことなどから、円高が進みました。当作成期末にかけては、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落する場面もありましたが、再度米国をはじめグローバルで金利が上昇基調となると、投資対象通貨は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見直し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

◆ポートフォリオについて

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見直し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、BOSTON SCIENTIFIC CORP (米国)、THERMO FISHER SCIENTIFIC INC (米国)、STRYKER CORP (米国)などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

メディカルデバイス・マザーファンド

《今後の運用方針》

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	12円 (12)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	47 (47) (1)
合 計	60

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2022年10月19日から2023年10月18日まで)

	買 付		売 付		
	株 数	金 額	株 数	金 額	
国内	千株 0.9 (—)	千円 3,424 (—)	千株 3.7 (—)	千円 11,818 (—)	
外 国	アメリカ	百株 42.79 (1.12)	千アメリカ・ドル 682 (—)	百株 57.21 (—)	千アメリカ・ドル 758 (—)
	スイス	百株 3 (—)	千スイス・フラン 38 (—)	百株 — (—)	千スイス・フラン — (—)
	中国	百株 2 (—)	千オフショア・人民元 66 (—)	百株 2 (—)	千オフショア・人民元 59 (—)
	ユーロ (フランス)	百株 — (—)	千ユーロ — (—)	百株 0.45 (—)	千ユーロ 13 (—)
	ユーロ (ドイツ)	百株 3.9 (—)	千ユーロ 20 (—)	百株 4.75 (—)	千ユーロ 22 (—)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	百株 3.9 (—)	千ユーロ 20 (—)	百株 5.2 (—)	千ユーロ 36 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2022年10月19日から2023年10月18日まで)

銘 柄	当 期			期 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
STRYKER CORP (アメリカ)	千株 0.391	千円 13,486	円 34,491	METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL (アメリカ)	千株 0.069	千円 12,909	円 187,100
INTUITIVE SURGICAL INC (アメリカ)	0.356	13,169	36,994	BIO-RAD LABORATORIES-A (アメリカ)	0.185	9,809	53,027
DEXCOM INC (アメリカ)	0.661	11,517	17,424	AGILENT TECHNOLOGIES INC (アメリカ)	0.555	9,621	17,335
BECTON DICKINSON AND CO (アメリカ)	0.195	7,802	40,010	QIAGEN N.V. (オランダ)	1.225	7,655	6,249
EDWARDS LIFESCIENCES CORP (アメリカ)	0.57	7,071	12,406	BECTON DICKINSON AND CO (アメリカ)	0.235	7,428	31,610
IDEXX LABORATORIES INC (アメリカ)	0.118	6,886	58,357	WATERS CORP (アメリカ)	0.185	7,356	39,762
GE HEALTHCARE TECHNOLOGIES (アメリカ)	0.581	6,413	11,037	BOSTON SCIENTIFIC CORP (アメリカ)	0.92	6,778	7,368
ALIGN TECHNOLOGY INC (アメリカ)	0.129	5,916	45,865	EDWARDS LIFESCIENCES CORP (アメリカ)	0.59	6,446	10,926
BIO-RAD LABORATORIES-A (アメリカ)	0.09	5,812	64,586	テルモ	1.5	5,993	3,995
STRAUMANN HOLDING AG-REG (スイス)	0.3	5,553	18,511	オリンパス	2.2	5,824	2,647

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内株式

銘柄	期首	当期末		業種等
	株数	株数	評価額	
	千株	千株	千円	
精密機器 (100.0%)				
テルモ	1.5	0.9	3,530	
オリンパス	2.2	—	—	
合計	千株	千株	千円	
株数、金額	3.7	0.9	3,530	
銘柄数<比率>	2銘柄	1銘柄	<2.5%>	

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国株式

銘柄	期首	当期末		業種等	
	株数	株数	評価額		
	百株	百株	千円		
(アメリカ)					
ABBOTT LABORATORIES	7.6	6.1	56, 8,422	ヘルスケア	
DANAHER CORP	4.2	3.8	80, 12,068	ヘルスケア	
BECTON DICKINSON AND CO	2.35	1.95	50, 7,576	ヘルスケア	
BIO-RAD LABORATORIES-A	0.95	—	—	ヘルスケア	
DEXCOM INC	—	5.61	45, 6,766	ヘルスケア	
ALIGN TECHNOLOGY INC	—	0.99	27, 4,105	ヘルスケア	
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	4.2	4	28, 4,215	ヘルスケア	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	7.6	2.5	28, 4,210	ヘルスケア	
INSULET CORP	2.95	1.45	20, 3,071	ヘルスケア	
HOLOGIC INC	5.5	6.6	45, 6,824	ヘルスケア	
QIAGEN N. V.	9	—	—	ヘルスケア	
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL	0.69	—	—	ヘルスケア	
STRYKER CORP	—	3.31	88, 13,333	ヘルスケア	
RESMED INC	2.25	0.96	13, 2,040	ヘルスケア	
REVVITY INC	1.65	—	—	ヘルスケア	
WATERS CORP	1.48	—	—	ヘルスケア	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2.2	1.85	89, 13,438	ヘルスケア	
GE HEALTHCARE TECHNOLOGIES	—	5.81	38, 5,815	ヘルスケア	
INTUITIVE SURGICAL INC	—	2.41	66, 9,944	ヘルスケア	
IDEXX LABORATORIES INC	—	1.18	51, 7,711	ヘルスケア	
BOSTON SCIENTIFIC CORP	27.2	18	90, 13,610	ヘルスケア	
アメリカ・ドル	株数、金額	79.82	66.52	821, 123,157	
通貨計	銘柄数<比率>	15銘柄	16銘柄	<85.6%>	

銘柄	期首	当期末		業種等
	株数	株数	評価額	
	百株	百株	千円	
(スイス)				
STRAUMANN HOLDING AG-REG	—	3	35, 5,881	ヘルスケア
スイス・フラン	株数、金額	—	3, 35	5,881
通貨計	銘柄数<比率>	—	1銘柄	<4.1%>
	百株	百株	千円	
(中国)				
SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDIC-A	8	8	213, 4,367	ヘルスケア
オジョア・人取	株数、金額	8	8	213, 4,367
通貨計	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<3.0%>
	百株	百株	千ユーロ	千円
ユーロ(フランス)				
SARTORIUS STEDIM BIOTECH	0.45	—	—	ヘルスケア
国小計	株数、金額	0.45	—	—
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<—>
	百株	百株	千ユーロ	千円
ユーロ(ドイツ)				
SIEMENS HEALTHINEERS AG	7.75	6.9	33, 5,229	ヘルスケア
国小計	株数、金額	7.75	6.9	33, 5,229
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<3.6%>
ユーロ	株数、金額	8.2	6.9	33, 5,229
通貨計	銘柄数<比率>	2銘柄	1銘柄	<3.6%>
ファンド	株数、金額	96.02	84.42	—, 138,635
合計	銘柄数<比率>	18銘柄	19銘柄	<96.4%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

メディカルデバイス・マザーファンド

■投資信託財産の構成

2023年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	142,165 千円	98.8 %
コール・ローン等、その他	1,687	1.2
投資信託財産総額	143,853	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=149.85円、1オーストラリア・ドル=95.20円、1イギリス・ポンド=182.19円、1スイス・フラン=166.35円、1スウェーデン・クローネ=13.69円、1オフショア・人民元=20.455円、1ユーロ=158.29円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(139,865千円)の投資信託財産総額(143,853千円)に対する比率は、97.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	143,853,327円
コール・ローン等	1,571,313
株式(評価額)	142,165,902
未取配当金	116,112
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	143,853,327
元本	90,137,615
次期繰越損益金	53,715,712
(D) 受益権総口数	90,137,615口
1万口当り基準価額(C/D)	15,959円

* 期首における元本額は102,208,018円、当作成期間中における追加設定元本額は5,089,428円、同解約元本額は17,159,831円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

 iFreeActive メディカルデバイス 90,137,615円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,959円です。

■損益の状況

当期 自2022年10月19日 至2023年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	776,021円
受取配当金	734,853
受取利息	41,333
支払利息	△ 165
(B) 有価証券売買損益	△ 13,742,078
売買益	13,046,442
売買損	△ 26,788,520
(C) その他費用	△ 463,536
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 13,429,593
(E) 前期繰越損益金	76,474,902
(F) 解約差損益金	△ 13,040,169
(G) 追加信託差損益金	3,710,572
(H) 合計(D+E+F+G)	53,715,712
次期繰越損益金(H)	53,715,712

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。